

2021年度 昼間部

科目		あん摩マッサージ指圧理論			
科目分野	専門 分野	学期	前 中 期		
学年	3 年次	担当教員	小俣 文華		
単位数	2 単位		実務経験	3年	
【授業の概要】 授業形態 講 義					
<p>施術者が臨床現場において、あん摩マッサー指圧の適応、禁忌、治効の基礎的な知識を身につける為、あん摩マッサージ指圧の基本手技、歴史、その他の手技療法、併用する物理療法、施術の生体反応や関連学説まで概説する。</p>					
【到達目標】					
<p>あん摩マッサージ指圧の特徴、意義、歴史的背景、基本手技とその作用を説明できる。 臨床現場で基本手技とその他の手技、併用する物理療法の種類と特徴について説明できる。</p>					
回	日付	授業計画		回	日付
1	4/7	授業の進め方 あん摩・マッサージ・指圧の意義と沿革		16	8/28
2	4/14	あん摩の基本手技とその作用		17	9/4
3	4/21	マッサージの基本手技とその作用		18	9/18
4	4/28	指圧の基本手技とその作用		19	9/25
5	5/12	あん摩マッサージ指圧の生体作用の転機 循環系に及ぼす作用		20	10/2
6	5/19	あん摩マッサージ指圧の神経系におよぼす作用		21	10/9
7	5/26	あん摩マッサージ指圧の皮膚・筋・関節・消化器に 及ぼす作用		22	10/16
8	6/2	あん摩マッサージ指圧のにおよぼす作用		23	10/23
9	6/9	運動法の生体におよぼす作用		24	10/30
10	6/16	あん摩・マッサージ・指圧の治療効果		25	11/6
11	6/23	東洋医学の健康観、経絡と経穴 法あん摩と導引①		26	11/13
12	6/30	古法あん摩と導引②		27	11/20
13	7/7	まとめ・問題演習		28	11/27
14	7/14	前期試験		29	12/4
15	7/21	試験返却、解答・解説		30	12/11
教科書 参考書等		あん摩マッサージ指圧理論 第2版 東洋療法学校協会編 配布プリント			
評価方法		前期試験及び中期試験の評価(100%)を合計して評価する。 各期における評価が60点以上で単位を認定する。			
成績評価指標		<p>1. 当該科目の総授業時間数のうち3分の2以上の出席に達しない者は、単位の認定を行わない。</p> <p>2. 成績評価の基準は次の通りとし、A、B、C、Dを合格、Fを不合格とする。 (1)A:90～100点 (2)B:80～89点 (3)C:70～79点 (4)D:60～69点 (5)F:60点未満</p>			

2021年度 昼間部

科目		応用指圧実技Ⅱ			
科目分野	専門 分野	学 期	前 期		
学 年	3 年次	担当教員	金子 智久		
単位数	2 単位		実務経験	治療院勤務3年 出張治療院経営19年	
【授業の概要】		授業形態	実 技		
卒業まで一年を切りました。この授業では患者様の主訴に対して治療を組み立てる要素を学習し、将来に役立てて頂きたいと思います。卒業後の現場を想定し、ベッドを主に使い学習して行きます。					
【到達目標】					
卒業後を見据え、患者様の主訴に対し、治療方法を選択でき、単位時間にて有効な施術が出来る。					
回	日付	授業計画	回	日付	
1	4/8	姿勢・スタンスの確認：伏臥位(床)	16	/	
2	4/15	姿勢・スタンスの確認・腹部指圧の効果：仰臥位(床)	17	/	
3	4/22	指圧における運動操作の意義	18	/	
4	5/1	腸腰筋の評価と指圧治療	19	/	
5	5/6	仙腸関節への指圧法①	20	/	
6	5/13	仙腸関節への指圧法②	21	/	
7	5/20	仙腸関節への指圧法③	22	/	
8	5/27	梨状筋の評価とアプローチ	23	/	
9	6/3	大腿筋膜張筋の評価とアプローチ	24	/	
10	6/10	腰椎椎間関節へのアプローチ、復習	25	/	
11	6/17	斜角筋症候群の治療法①	26	/	
12	6/24	斜角筋症候群の治療法②、胸鎖乳突筋の治療法	27	/	
13	7/1	頸椎椎間関節機能障害の治療法	28	/	
14	7/8	期末試験①	29	/	
15	7/15	期末試験②	30	/	
教科書 参考書等		指圧療法学 改訂第1版 国際医学出版			
評価方法		実技試験、出席状況、授業への取り組み方などを総合して評価する。 欠席は5点、遅刻早退は3点減ずる。			
成績評価指標		1. 当該科目の総授業時間数のうち3分の2以上の出席に達しない者は、単位の認定を行わない。 2. 成績評価の基準は次の通りとし、A、B、Cを合格、Dを不合格とする。 (1)A:90～100点 (2)B:70～89点 (3)C:60～69点 (4)D:60点未満			

2021年度 昼間部

科目		応用指圧実技Ⅱ			
科目分野	専門 分野	学 期	前 中 期		
学 年	3 年次	担当教員	藤田 一彦		
単位数	4 単位		実務経験	治療院勤務9年 治療院経営18年	
【授業の概要】 授業形態 指圧実技					
1年、2年で学習した基本指圧、応用指圧、臨床自習前講習をベースに指圧適応疾患の技術を習得する					
【到達目標】					
<ul style="list-style-type: none"> ・各適応疾患の説明ができる。 ・臨床時における適応疾患の技術操作ができる。 ・治療効果が上がる技術操作ができる。 					
回	日付	授業計画	回	日付	授業計画
1	4/2	肩関節周囲炎	16	8/27	頸椎症
2	/9	肩関節周囲炎	17	9/3	頸椎症
3	/16	肩関節周囲炎	18	/17	頸椎症
4	/23	肩関節周囲炎	19	/24	変形性膝関節症
5	/30	腰痛	20	10/1	変形性膝関節症
6	5/7	腰痛	21	/8	変形性膝関節症
7	/14	腰痛	22	/15	変形性膝関節症
8	/21	胸郭出口症候群	23	/22	復習
9	/28	胸郭出口症候群	24	/29	復習
10	6/4	胸郭出口症候群	25	11/5	復習
11	/11	復習	26	/12	中期試験
12	/18	復習	27	/19	復習
13	/25	期末試験	28	/26	期末試験
14	7/2	期末試験	29	/3	期末試験
15	/16	復習	30	/10	振り返り
教科書 参考書等		指圧療法学 国際出版 プリント			
評価方法		実技試験,出席状況,授業の取り組み方を総合して評価。欠席5点,遅刻早退3点減ずる。			
成績評価指標		1. 当該科目の総授業時間数のうち3分の2以上の出席に達しない者は、単位の認定を行わない。 2. 成績評価の基準は次の通りとし、A、B、C、Dを合格、Fを不合格とする。 (1)A:90～100点 (2)B:80～89点 (3)C:70～79点 (4)D:60～69点 (5)F:60点未満			

2021年度 昼間部

科 目		経絡経穴概論			
科目分野	専 門 分 野	学 期	前 期		
学 年	3 年 次	担当教員	青木 美稚子		
単位数	1 単 位		実務経験	治療院経営3年以上	
【授業の概要】 授業形態 講義					
それぞれが弱点を把握、強化できるよう、小テストや問題演習、解説を中心に行う。					
【到達目標】					
問題演習を通じて経絡経穴概論・東洋医学概論の国試問題に慣れ、知識を定着させる。					
回	日付	授業計画	回	日付	授業計画
1	4 / 2	経穴① 経絡の流注	16	/	
2	4 / 9	経穴② 骨度法	17	/	
3	4 / 16	経穴③ 要穴	18	/	
4	4 / 30	経穴④ 上肢・下肢の経穴	19	/	
5	5 / 7	経穴⑤ 背・腹・頭頸部の経穴	20	/	
6	5 / 14	経穴⑥ 現代的研究	21	/	
7	5 / 21	東概① 東洋医学の思想	22	/	
8	5 / 28	東概② 気血津液の生理	23	/	
9	6 / 4	東概③ 臓腑の生理①	24	/	
10	6 / 11	東概④ 臓腑の生理②	25	/	
11	6 / 18	東概⑤ 病因	26	/	
12	6 / 25	東概⑥ 病証	27	/	
13	7 / 2	まとめ	28	/	
14	7 / 9	前期試験	29	/	
15	7 / 16	試験返却、解答・解説	30	/	
教科書 参考書等		新版 東洋医学概論 第2版 東洋療法学校協会編 新版 経絡経穴概論 第2版 東洋療法学校協会編			
評価方法		小テスト(30%)および前期期末試験の評価(70%)を合計して評価する。 60点以上で単位を認定する。			
成績評価指標		1. 当該科目の総授業時間数のうち3分の2以上の出席に達しない者は、単位の認定を行わない。 2. 成績評価の基準は次の通りとし、A、B、C、Dを合格、Fを不合格とする。 (1)A:90~100点 (2)B:80~89点 (3)C:70~79点 (4)D:60~69点 (5)F:60点未満			

2021年度 昼間部

科目		生物学			
科目分野	基礎 分野	学 期	前 期		
学 年	3 年次	担当教員	山本 利春		
単位数	2 単位		実務経験		
【授業の概要】 授業形態 講義					
<p>広い生物学の領域から最重要項目を概説する。生物学的な細胞の多様性、ヒトという種を含めた受精、細胞分裂、発生を概説する。遺伝のメカニズム、形質発現までのプロセスを概説する。同化と異化とは何か、生体内でのエネルギー変換について概説する。ヒトを含めた動物における恒常性の維持、刺激に対する合目的応答について概説する。ヒトの脳の特異性、ヒトという種の進化の過程を概説する。</p>					
【到達目標】					
<p>多様な細胞小器官、および細胞の名称とその働きを説明できる。細胞分裂、発生のプロセスを概説できる。遺伝のメカニズムを説明できる。同化と異化とは何か、生体内での化学エネルギーから種々のエネルギーへの変換を説明できる。恒常性の維持、応答のプロセスを概説できる。神経系の集中化、終脳化を概説できる。霊長類としてのヒト(<i>Homo sapiens</i>)の進化の過程を概説できる。</p>					
回	日付	授業計画	回	日付	授業計画
1	4 / 7	細胞学	16	/	
2	4 / 14	分子から個体までの階層性	17	/	
3	4 / 21	細胞周期、細胞分裂、細胞の分化	18	/	
4	4 / 28	無性生殖、有性生殖、発生学	19	/	
5	5 / 12	(確認テスト1)、遺伝学	20	/	
6	5 / 19	核酸、複製、転写、翻訳	21	/	
7	5 / 26	タンパク質、酵素	22	/	
8	6 / 2	同化、異化、独立栄養生物、従属栄養生物	23	/	
9	6 / 9	ATPの合成経路、化学エネルギーの変換	24	/	
10	6 / 16	(確認テスト2)、恒常性	25	/	
11	6 / 23	刺激の受容と応答	26	/	
12	6 / 30	ヒトの脳の特異性	27	/	
13	7 / 13	ヒトの進化	28	/	
14	7 / 14	前期試験	29	/	
15	7 / 21	フィードバック	30	/	
教科書 参考書等	配布資料				
評価方法	授業態度(10%)、2回の確認テスト(20%)、前期試験(70%)で査定します。				
成績評価指標	<p>1. 当該科目の総授業時間数のうち3分の2以上の出席に達しない者は、単位の認定を行わない。</p> <p>2. 成績評価の基準は次の通りとし、A、B、C、Dを合格、Fを不合格とする。</p> <p>(1)A: 90~100点 (2)B: 80~89点 (3)C: 70~79点 (4)D: 60~69点 (5)F: 60点未満</p>				

2021年度 昼間部

科 目		総合解剖学	
科目分野	専門基礎 分野	学 期	前 期
学 年	3 年次	担当教員	高橋 雄輔
単位数	1 単位		実務経験 10年
【授業の概要】 授業形態 講義			
<p>国家試験の問題を中心に演習と解説を行います。臨床や他の科目との関連を学び解剖学の知識が「臨床のための解剖学」となることを目指します。授業は講義を中心に行いますが機会を見て学生の皆さんがお互いに教え合うグループ学習の時間も取り入れたいと考えています。</p>			
【到達目標】			
<ul style="list-style-type: none"> ・あん摩マッサージ指圧師の臨床に必要な解剖学的知識を習得する ・国家試験の問題について解答だけでなく周辺知識を含めて解説できる 			
回	日付	授業計画	
1	4 / 6	ガイダンス 確認テスト	
2	4 / 13	確認テスト振り返り	
3	4 / 20	問題演習 ①	
4	4 / 27	問題演習 ②	
5	5 / 11	問題演習 ③	
6	5 / 18	問題演習 ④	
7	5 / 25	問題演習 ⑤	
8	6 / 1	グループ学習 ①	
9	6 / 8	グループ学習 ②	
10	6 / 15	グループ学習 ③	
11	6 / 22	グループ学習 ④	
12	6 / 29	グループ学習 ⑤	
13	7 / 6	前期試験ガイダンス	
14	7 / 13	前期試験	
15	7 / 20	テスト返却 予備日	
教科書 参考書等		東洋療法学校協会 編「解剖学」第2版 医歯薬出版株式会社	
評価方法		<ul style="list-style-type: none"> ・定期テストの点数(70%)＋グループ学習の取り組み(30%) ・授業態度、グループ学習への取り組み姿勢をポジティブ評価する ・60点以上で単位取得を認める 	
成績評価指標		<p>1. 当該科目の総授業時間数のうち3分の2以上の出席に達しない者は、単位の認定を行わない。</p> <p>2. 成績評価の基準は次の通りとし、A、B、C、Dを合格、Fを不合格とする。 (1)A:90～100点 (2)B:80～89点 (3)C:70～79点 (4)D:60～69点 (5)F:60点未満</p>	

2021年度 昼間部

科目		東洋医学臨床論Ⅱ			
科目分野	専門 分野	学期	前中 期		
学年	3 年次	担当教員	山口智也		
単位数	4 単位		実務経験	治療院経営3年	
【授業の概要】 授業形態 講義					
東洋医学臨床論とは、解剖学、生理学、臨床医学総論・各論、東洋医学概論、経絡経穴概論の知識を統合して病態生理を判断しあん摩マッサージ指圧師として施術適応かどうかを学ぶ科目です。					
【到達目標】					
患者から得られる所見より施術適応の可否を判断し、あん摩マッサージ指圧療法を活用するまでの一連の流れを習得する。					
回	日付	授業計画	回	日付	授業計画
1	4 / 6	気・血・津液、五臓	16	8 / 31	便秘・下痢
2	4 / 13	五臓、歯痛	17	9 / 7	便秘・下痢、月経異常
3	4 / 20	歯痛、眼精疲労	18	9 / 14	月経異常
4	4 / 27	眼精疲労、鼻閉・鼻汁	19	9 / 21	排尿障害、インポテンツ
5	5 / 11	鼻閉・鼻汁、脱毛症	20	9 / 28	インポテンツ、血圧異常
6	5 / 18	脱毛症、めまい	21	10 / 5	血圧異常、肥満
7	5 / 25	めまい、耳鳴り・難聴	22	10 / 12	肥満、発熱
8	6 / 1	耳鳴り・難聴、咳嗽	23	10 / 19	発熱、のぼせ冷え
9	6 / 8	咳嗽、喘息・喘鳴	24	10 / 26	のぼせ冷え、不眠、疲労
10	6 / 15	喘息・喘鳴、胸痛	25	11 / 2	不眠、疲労、小児疾患
11	6 / 22	胸痛、腹痛	26	11 / 9	中期試験
12	6 / 29	腹痛、悪心・嘔吐	27	11 / 16	中期試験解説、小児疾患
13	7 / 6	悪心・嘔吐、食欲不振	28	11 / 30	老年医学
14	7 / 13	前期試験	29	12 / 7	老年医学、問題演習1
15	7 / 20	前期試験解説、食欲不振	30	12 / 14	問題演習2
教科書 参考書等	東洋医学臨床論(あん摩マッサージ指圧編・鍼灸編) 東洋療法学校協会編 新版 東洋医学概論 東洋療法学校協会編 新版 経絡経穴概論 東洋療法学校協会編 配布プリント				
評価方法	前期試験及び中期試験の結果で評価する。 各期における評価が60点以上で単位を認定する。				
成績評価指標	1. 当該科目の総授業時間数のうち3分の2以上の出席に達しない者は、単位の認定を行わない。 2. 成績評価の基準は次の通りとし、A、B、C、Dを合格、Fを不合格とする。 (1)A:90～100点 (2)B:80～89点 (3)C:70～79点 (4)D:60～69点 (5)F:60点未満				

2021年度 昼間部

科目		東洋医学臨床論Ⅱ					
科目分野	専門 分野	学 期	前中 期				
学 年	3 年次	担当教員	浅谷 健介				
単位数	4 単位		実務経験	15年以上			
【授業の概要】 授業形態 講義 あん摩マッサージ指圧師が臨床の場において多く遭遇する疾患に対して、病態把握とともに鑑別診断、症状、検査、治療について学習する。							
【到達目標】 施術の適否を判断し、あん摩マッサージ指圧療法を行うまでの経過を習得する。							
回	日付	授業計画		回	日付	授業計画	
1	4 / 3	治療総論		16	8 / 28	膝関節痛	
2	4 / 10	頸椎症		17	9 / 4	膝関節痛	
3	4 / 17	胸郭出口症候群		18	9 / 18	頭痛	
4	4 / 24	肩関節痛		19	9 / 25	頭痛	
5	5 / 10	腱板損傷		20	10 / 2	顔面痛	
6	5 / 17	肩関節周囲炎		21	10 / 9	顔面神経麻痺	
7	5 / 24	絞扼性神経障害		22	10 / 16	スポーツ外傷	
8	5 / 29	絞扼性神経障害		23	10 / 23	ストレッチ	
9	6 / 5	絞扼性神経障害		24	10 / 30	外側上顆炎	
10	6 / 12	腰下肢痛		25	11 / 6	野球肩	
11	6 / 19	腰痛症		26	11 / 13	期末試験	
12	6 / 26	腰痛症		27	11 / 20	腱鞘炎	
13	7 / 3	物理療法		28	11 / 27	膝関節障害	
14	7 / 10	期末試験		29	12 / 4	膝関節障害	
15	7 / 17	物理療法		30	12 / 11	骨折・脱臼	
教科書 参考書等		主に配布プリント					
評価方法		期末試験で評価する。					
成績評価指標		1. 当該科目の総授業時間数のうち3分の2以上の出席に達しない者は、単位の認定を行わない。 2. 成績評価の基準は次の通りとし、A、B、C、Dを合格、Fを不合格とする。 (1)A:90～100点 (2)B:80～89点 (3)C:70～79点 (4)D:60～69点 (5)F:60点未満					

2021年度 昼間部

科 目		臨床医学各論Ⅱ			
科目分野	専門基礎 分野	学 期	前中 期		
学 年	3 年次	担当教員	渡邊 和雄		
単位数	2 単位		実務経験	治療院10年以上	
【授業の概要】 授業形態 講義 問題演習を通じて、臨床現場で遭遇する代表的疾患の病態、診断、症状を整理していく。					
【到達目標】 代表的疾患それぞれについて、病態、診断、症状を述べるができる。					
回	日付	授業計画	回	日付	授業計画
1	4 / 3	感染症問題演習	16	8 / 27	運動器疾患問題演習③
2	4 / 10	消化管疾患問題演習	17	9 / 3	循環器疾患問題演習
3	4 / 17	肝胆膵疾患問題演習①	18	9 / 17	血液・造血器疾患問題演習
4	4 / 24	肝胆膵疾患問題演習②	19	9 / 24	神経疾患 問題演習①
5	5 / 8	呼吸器疾患問題演習①	20	10 / 1	神経疾患 問題演習②
6	5 / 15	呼吸器疾患問題演習② 泌尿生殖器疾患問題演習①	21	10 / 8	膠原病問題演習
7	5 / 22	泌尿生殖器疾患問題演習②	22	10 / 15	その他の領域問題演習①
8	5 / 29	前期中間試験	23	10 / 22	その他の領域問題演習②
9	6 / 5	内分泌疾患問題演習	24	10 / 29	総合復習①
10	6 / 12	代謝・栄養疾患問題演習	25	11 / 5	要点整理
11	6 / 19	運動器疾患問題演習①	26	11 / 12	中期試験
12	6 / 26	運動器疾患問題演習②	27	11 / 19	試験返却、解答・解説
13	7 / 3	前期試験	28	11 / 26	総合復習②
14	7 / 10	試験返却、解答・解説	29	12 / 3	総合復習③
15	7 / 17	実力試験	30	12 / 10	総合復習④
教科書 参考書等		臨床医学各論 第2版 東洋療法学校協会編			
評価方法		前期、中期各期に定期試験を行う。 各定期試験の評価を合計/2で評価する。 中間試験、小テストの結果に応じて定期試験評価に加点することがある。 各期における評価が60点以上で単位を認定する。			
成績評価指標		1. 当該科目の総授業時間数のうち3分の2以上の出席に達しない者は、単位の認定を行わない。 2. 成績評価の基準は次の通りとし、A、B、C、Dを合格、Fを不合格とする。 (1)A:90～100点 (2)B:80～89点 (3)C:70～79点 (4)D:60～69点 (5)F:60点未満			

2021年度 昼間部

科目		臨床指圧各論Ⅱ			
科目分野	専門分野	学期	前中期		
学年	3年次	担当教員	金子 泰隆		
単位数	2単位		実務経験	治療院開業 10年以上	
【授業の概要】 授業形態 実技					
1・2年次で修得した技術に加え、臨床で多く遭遇する症状に個別に対応するための技術を学ぶ。					
【到達目標】					
臨床で多く遭遇する症状の発症機序を理解し、的確な施術を組み立てる力を身につける。					
回	日付	授業計画	回	日付	授業計画
1	4 / 8	押圧動作の確認①	16	8 / 26	押圧動作の確認①
2	4 / 15	押圧動作の確認②	17	9 / 2	押圧動作の確認②
3	4 / 22	押圧動作の確認③	18	9 / 9	押圧動作の確認③
4	5 / 1	膝痛への対応①	19	9 / 16	腰痛への対応①
5	5 / 6	膝痛への対応②	20	9 / 30	腰痛への対応②
6	5 / 13	膝痛を想定した全身操作①	21	10 / 7	腰痛を想定した全身操作①
7	5 / 20	膝痛を想定した全身操作②	22	10 / 14	腰痛を想定した全身操作②
8	5 / 27	頸部痛への対応①	23	10 / 21	ポイント指導①
9	6 / 3	頸部痛への対応②	24	10 / 28	ポイント指導②
10	6 / 10	頸部痛を想定した全身操作①	25	11 / 4	ポイント指導③
11	6 / 17	頸部痛を想定した全身操作②	26	11 / 11	ポイント指導④
12	6 / 24	肩関節痛への対応①	27	11 / 18	ポイント指導⑤
13	7 / 1	肩関節痛への対応②	28	11 / 25	基本指圧確認
14	7 / 8	肩関節痛を想定した全身操作①	29	12 / 9	まとめ①
15	7 / 15	肩関節痛を想定した全身操作②	30	12 / 14	まとめ②
教科書 参考書等		指圧療法学			
評価方法		授業態度を含めた総合点より、欠席1回につき5点、遅刻早退1回につき3点を減点し算出する。			
成績評価指標		1. 当該科目の総授業時間数のうち3分の2以上の出席に達しない者は、単位の認定を行わない。 2. 成績評価の基準は次の通りとし、A、B、C、Dを合格、Fを不合格とする。 (1)A:90～100点 (2)B:80～89点 (3)C:70～79点 (4)D:60～69点 (5)F:60点未満			

2021年度 昼間部

科目		臨床実習Ⅱ			
科目分野	専門 分野	学期	前 中 後 期		
学年	3 年次	担当教員	黒沢純一(20年)、高橋雄輔(17年)、金子智久(22年)、藤田一彦(28年)、大久保直子(10年)、石塚洋之(16年)、青木美稚子(8年)		
単位数	3 単位				
【授業の概要】 授業形態 臨床実習					
患者を対象とした臨床実習を通じ、臨床現場での考え方、技術を学ぶ。					
【到達目標】					
あん摩マッサージ指圧師としての基礎的な臨床能力を身につける。					
回	日付	授業計画	回	日付	授業計画
1	4 / 5	臨床実習1	25	7 / 5	臨床実習25
2	4 / 5	臨床実習2	26	7 / 5	臨床実習26
3	4 / 12	臨床実習3	27	7 / 12	臨床実習27
4	4 / 12	臨床実習4	28	7 / 12	臨床実習28
5	4 / 19	臨床実習5	29	7 / 19	臨床実習29
6	4 / 19	臨床実習6	30	7 / 19	臨床実習30
7	4 / 26	臨床実習7	31	8 / 30	臨床実習31
8	4 / 26	臨床実習8	32	8 / 30	臨床実習32
9	5 / 10	臨床実習9	33	9 / 6	臨床実習33
10	5 / 10	臨床実習10	34	9 / 6	臨床実習34
11	5 / 17	臨床実習11	35	9 / 13	臨床実習35
12	5 / 17	臨床実習12	36	9 / 13	臨床実習36
13	5 / 24	臨床実習13	37	9 / 27	臨床実習37
14	5 / 24	臨床実習14	38	9 / 27	臨床実習38
15	5 / 31	臨床実習15	39	10 / 4	臨床実習39
16	5 / 31	臨床実習16	40	10 / 4	臨床実習40
17	6 / 7	臨床実習17	41	10 / 11	臨床実習41
18	6 / 7	臨床実習18	42	10 / 11	臨床実習42
19	6 / 14	臨床実習19	43	10 / 18	臨床実習43
20	6 / 14	臨床実習20	44	10 / 18	臨床実習44
21	6 / 21	臨床実習21	45	10 / 25	臨床実習45
22	6 / 21	臨床実習22	46	10 / 25	臨床実習46
23	6 / 28	臨床実習23	47	11 / 1	臨床実習47
24	6 / 28	臨床実習24	48	11 / 1	臨床実習48

49	11 / 8	臨床実習49	60	12 / 13	臨床実習58
50	11 / 8	臨床実習50	61	1 / 17	臨床実習59
51	11 / 15	臨床実習51	62	1 / 17	臨床実習60
52	11 / 15	臨床実習52	63	1 / 24	臨床実習61
53	11 / 22	臨床実習53	64	1 / 24	臨床実習62
54	11 / 22	臨床実習54	65	1 / 31	臨床実習63
55	11 / 29	試験	66	1 / 31	臨床実習64
56	11 / 29	試験	67	2 / 7	臨床実習65
57	12 / 6	臨床実習55	68	2 / 7	臨床実習66
58	12 / 6	臨床実習56	69	/	
59	12 / 13	臨床実習57	70	/	
教科書 参考書等		特になし 必要な資料があれば適宜配布する。			
評価方法		身だしなみ、服装、治療記録の提出、患者への対応も含めた実習への取り組みを評価する。欠席は1回につき5点、遅刻早退は1回につき3点を平常点から減ずる。			
成績評価指標		1. 当該科目の総授業時間数のうち3分の2以上の出席に達しない者は、単位の認定を行わない。 2. 成績評価の基準は次の通りとし、A、B、C、Dを合格、Fを不合格とする。 (1)A:90~100点 (2)B:80~89点 (3)C:70~79点 (4)D:60~69点 (5)F:60点未満			

2021年度 昼間部

科目		応用指圧実技Ⅱ			
科目分野	専門分野	学期	中期		
学年	3年次	担当教員	碓田 雅子		
単位数	4単位		実務経験	治療院開業19年以上	
【授業の概要】 授業形態 実技 臨床において有効な施術および必要に応じての機能訓練を学ぶ。					
【到達目標】 臨床を見据え、安全かつ有効な施術ができること。高齢化社会に対応する機能訓練ができること。					
回	日付	授業計画	回	日付	授業計画
1	8 / 26	臨床での注意点・スタンス確認	16	/	
2	9 / 2	膝痛治療1	17	/	
3	9 / 9	肩関節痛治療1	18	/	
4	9 / 16	頸部痛治療	19	/	
5	9 / 30	腱鞘炎と肘痛治療	20	/	
6	10 / 7	膝痛治療2	21	/	
7	10 / 14	肩関節治療2	22	/	
8	10 / 21	腰痛治療	23	/	
9	10 / 28	各部位復習	24	/	
10	11 / 4	実技試験	25	/	
11	11 / 11	実技試験予備日・訪問マッサージと機能訓練1	26	/	
12	11 / 18	訪問マッサージと機能訓練2	27	/	
13	11 / 25	訪問マッサージと機能訓練3	28	/	
14	12 / 9	訪問マッサージと機能訓練4	29	/	
15	12 / 16	訪問マッサージと機能訓練5・リスクマネジメント	30	/	
教科書 参考書等		指圧療法学 改訂第1版 国際医学出版			
評価方法		実技試験、出席状況、授業への取り組み方などを総合して評価するが卒業認定試験において欠点のものは単位を認めない。欠席は5点、遅刻早退は3点減ずる。			
成績評価指標		1. 当該科目の総授業時間数のうち3分の2以上の出席に達しない者は、単位の認定を行わない。 2. 成績評価の基準は次の通りとし、A、B、C、Dを合格、Fを不合格とする。 (1)A:90～100点 (2)B:80～89点 (3)C:70～79点 (4)D:60～69点 (5)F:60点未満			

2021年度 昼間部

科目		課題研究					
科目分野	専門 分野	学 期	中後 期				
学 年	3 年次	担当教員	青木 美稚子				
単位数	2 単位		実務経験	治療院経営3年以上			
【授業の概要】 授業形態 講義 問題演習、解説を中心に行う。							
【到達目標】 問題演習を通じて国試問題に慣れ、知識を定着させ、科目をまたいで思考できるようにする。							
回	日付	授業計画		回	日付	授業計画	
1	9 / 1	試験		16	1 / 7	実力試験	
2	9 / 8	問題演習①		17	1 / 11	問題演習⑫	
3	9 / 15	問題演習②		18	1 / 12	問題演習⑬	
4	9 / 22	問題演習③		19	1 / 18	問題演習⑭	
5	9 / 29	問題演習④		20	1 / 19	問題演習⑮	
6	10 / 6	問題演習⑤		21	1 / 25	問題演習⑯	
7	10 / 13	問題演習⑥		22	1 / 26	問題演習⑰	
8	10 / 20	問題演習⑦		23	2 / 1	問題演習⑱	
9	10 / 27	まとめ		24	2 / 2	問題演習⑲	
10	11 / 10	中期試験		25	2 / 4	実力試験	
11	11 / 17	試験返却、解答・解説、指圧の歴史		26	2 / 8	問題演習⑳	
12	11 / 24	問題演習⑧		27	2 / 9	問題演習㉑	
13	12 / 1	問題演習⑨		28	2 / 14	後期試験	
14	12 / 8	問題演習⑩		29	2 / 15	試験返却、解答・解説	
15	12 / 15	問題演習⑪		30	2 / 16	問題演習㉒	
教科書 参考書等		主にプリント配布による。					
評価方法		試験による。					
成績評価指標		1. 当該科目の総授業時間数のうち3分の2以上の出席に達しない者は、単位の認定を行わない。 2. 成績評価の基準は次の通りとし、A、B、C、Dを合格、Fを不合格とする。 (1)A:90～100点 (2)B:80～89点 (3)C:70～79点 (4)D:60～69点 (5)F:60点未満					

2021年度 昼間部

科目		総合生理学			
科目分野	専門基礎 分野	学期	中 期		
学年	3 年次	担当教員	本多 剛		
単位数	1 単位		実務経験	治療実務10年以上	
【授業の概要】 授業形態 講義					
<p>あん摩マッサージ指圧師が施術を行う上で必要となる人体の構造と機能の知識を身につけるため、神経系、運動器系、感覚器系、内分泌系、循環器系、呼吸器系、消化器系、泌尿器系、生殖器系の機能について概説する。</p>					
【到達目標】					
<p>神経系、運動器系、感覚器系、内分泌系、循環器系、呼吸器系、消化器系、泌尿器系、生殖器系の機能的概要を述べるができる。</p>					
回	日付	授業計画	回	日付	授業計画
1	8 / 31	生理学の基礎 要点説明	16	/	
2	9 / 7	生理学の基礎 問題演習 栄養と代謝 要点説明	17	/	
3	9 / 14	栄養と代謝 問題演習 神経 ①要点説明	18	/	
4	9 / 21	神経 ① 問題演習 神経 ②要点説明	19	/	
5	9 / 28	神経 ② 問題演習 内臓の自律神経性調節 要点説明	20	/	
6	10 / 5	内臓の自律神経性調節 問題演習 筋・運動 要点説明	21	/	
7	10 / 12	筋・運動 問題演習 感覚 要点説明	22	/	
8	10 / 19	感覚 問題演習 内分泌・生殖・成長と老化①要点説明	23	/	
9	10 / 26	内分泌・生殖・成長と老化②、体温 要点説明	24	/	
10	11 / 2	内分泌・生殖・成長と老化、体温 問題演習 消化と吸収 要点説明	25	/	
11	11 / 9	中期試験 消化と吸収 問題演習	26	/	
12	11 / 16	循環 要点説明	27	/	
13	11 / 30	循環 問題演習 呼吸、排泄 要点説明	28	/	
14	12 / 7	呼吸、排泄 問題演習 血液 要点説明	29	/	
15	12 / 14	血液 問題演習	30	/	
教科書 参考書等		生理学 第3版 東洋療法学校協会編			
評価方法		中期試験の点数で評価する。60点以上で単位を認定する。			
成績評価指標		1. 当該科目の総授業時間数のうち3分の2以上の出席に達しない者は、単位の認定を行わない。 2. 成績評価の基準は次の通りとし、A、B、C、Dを合格、Fを不合格とする。 (1)A:90～100点 (2)B:80～89点 (3)C:70～79点 (4)D:60～69点 (5)F:60点未満			

2021年度 昼間部

科目		地域経営			
科目分野	専門 分野	学 期	中 後 期		
学 年	3 年次	担当教員	高橋雄輔、金子泰隆		
単位数	2 単位		実務経験	治療院経営10年以上	
<p>【授業の概要】 授業形態 講 義</p> <p>あん摩マッサージ指圧師を取り巻く環境を理解し、社会におけるあん摩マッサージ指圧師の役割について考える。</p>					
<p>【到達目標】</p> <p>あん摩マッサージ指圧師にかかわりの深い現行の社会制度を理解し、職業の意義・社会的役割を考慮しながら将来の計画を立てる力を身につける。</p>					
回	日付	授業計画	回	日付	
1	9/1	模擬試験	16	1/6	あま指師を取り巻く環境について①
2	9/8	ガイダンス第1章 社会的ニーズとあま指師の役割	17	1/11	あま指師を取り巻く環境について②
3	9/15	第2章 1)医療保険制度について	18	1/13	あま指師を取り巻く環境について③
4	9/22	1)医療保険制度について ①療養費制度の概略	19	1/18	社会におけるあま指師の役割①
5	9/29	1)医療保険制度について ②療養費制度とあま指	20	1/20	社会におけるあま指師の役割②
6	10/6	2)介護保険制度について	21	1/25	社会におけるあま指師の役割③
7	10/13	自己分析・開業シュミレーション①	22	1/27	治療院で遭遇する症状への対応(頸部痛①)
8	10/20	自己分析・開業シュミレーション②	23	2/1	治療院で遭遇する症状への対応(頸部痛②)
9	10/27	会計・経営の基礎知識	24	2/3	治療院で遭遇する症状への対応(肩関節痛①)
10	11/10	中期試験	25	2/4	試 験
11	11/17	演 習	26	2/8	治療院で遭遇する症状への対応(肩関節痛②)
12	11/24	演 習	27	2/10	治療院で遭遇する症状への対応(腰痛①)
13	12/1	演 習	28	2/15	治療院で遭遇する症状への対応(腰痛②)
14	12/8	演 習	29	2/17	治療院で遭遇する症状への対応(膝痛①)
15	12/15	予備日	30	2/18	まとめ
教科書 参考書等		社会あはき学			
評価方法		試験により評価する。			
成績評価指標		<p>1. 当該科目の総授業時間数のうち3分の2以上の出席に達しない者は、単位の認定を行わない。</p> <p>2. 成績評価の基準は次の通りとし、A、B、C、Dを合格、Fを不合格とする。</p> <p>(1)A:90～100点 (2)B:80～89点 (3)C:70～79点 (4)D:60～69点 (5)F:60点未満</p>			

2021年度 昼間部

科目		関係法規		
科目分野	専門基礎 分野	学期	後 期	
学 年	3 年次	担当教員	渡邊 和雄	
単位数	1 単位		実務経験	10年以上
【授業の概要】 授業形態 講 義 あん摩マッサージ指圧師の法的根拠となるあん摩マッサージ指圧師・はり師・きゅう師等に関する法律(あはき法)とあん摩マッサージ指圧師・はり師・きゅう師等に関する法律施行規則(あはき法施行規則)について、卒業後関係すると考えられる条文を読み込んでいく。				
【到達目標】 ・日本の医療福祉制度におけるあん摩マッサージ指圧師の法的根拠、位置づけを理解する。 ・あん摩マッサージ指圧師の法的制限、注意事項について説明できる。				
回	日付	授業計画	回	日付
1	1/6	免許① 医業類似行為、法第1条、	16	/
2	1/7	確認試験	17	/
3	1/12	免許② 積極的要件、消極的要件、名簿	18	/
4	1/13	免許③ 名簿登録削除、 免許証(書換交付、再交付)	19	/
5	1/19	免許④ 免許証返納、免許に関する国家試験問題	20	/
6	1/20	業務① 業務の独占、禁止行為、制限行為	21	/
7	1/26	業務② 施術所の開設、要件、 出張業務、滞在業務	22	/
8	1/27	業務③ 広告制限、施術所名称制限	23	/
9	2/2	業務④ 業務停止、秘密保持義務 両罰規定、業務に関する国家試験問題	24	/
10	2/3	総まとめ	25	/
11	2/9	関係法規(医療法等)と関係する国家試験問題	26	/
12	2/10	あはき法、あはき法施行規則等演習問題①	27	/
13	2/14	あはき法、あはき法施行規則等演習問題②	28	/
14	2/16	あはき法、あはき法施行規則等演習問題③	29	/
15	2/17	あはき法、あはき法施行規則等演習問題④	30	/
教科書 参考書等		関係法規(第7版) 東洋療法学校協会編 前田和彦 著		
評価方法		出席状況で判断する。 欠席1回で5点減点。遅刻早退は2点減点。 授業中に配布するプリント作成による加点あり。		
成績評価指標		1. 当該科目の総授業時間数のうち3分の2以上の出席に達しない者は、単位の認定を行わない。 2. 成績評価の基準は次の通りとし、A、B、C、Dを合格、Fを不合格とする。 (1)A:90~100点 (2)B:80~89点 (3)C:70~79点 (4)D:60~69点 (5)F:60点未満		